



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



平成25年度昭和大学卒業式・学位記 伝達式開催される

歯学部長 宮崎 隆

平成25年度昭和大学卒業式が、3月17日(月)に五反田の「ゆうぼうとホール」において執り行われました。今年は3月に入り寒い日が続いていましたが、当日は春の陽気の晴天に恵まれ、着飾った卒業生で晴れやかな式典になりました。式は午前10時に昭和大学管弦楽団の演奏で開会しました。校歌斉唱に引き続き、各学部の総代に小出学長から学位記が授与されました。歯学部32回生92名の総代は山本朗子さんでした。引き続き学長から「卒業でこれまでの学生時代と立場は変わるが、至誠一貫の精神のもとで、患者さんを思いやって各分野の医療人として活躍するように」と告辞がありました。

各種表彰に移り、歯学部関係では、上條賞を山本朗子さん、同窓会賞を榎本 恵さん、佐藤薫子さん、藤原理佳子さん、そして上條旗ヶ岡賞をラグビー部の田代 慎君が受賞しました。稲垣父兄会長から卒業生に激励の挨拶と卒業生代表の井上 薫さんに記念品贈呈がありました。在校生送辞と卒業生答辞のあとに、昭和大学関係者全員で「昭和大学宣言」を高らかに唱和しました。卒業の歌(翼をください)斉唱のあと、最後に恒例となった応援指導部による卒業生への力強いエールがあり閉会しました。今年は特別企画として、卒業生メンバーによるアカペラが披露されました。引き続き各学部に分かれて午後1時から、歯学部は旗の台校舎4号館500号室において、学位記伝達式が執り行われました。宮崎歯学部長、榎病院長、飯島同窓会長の挨拶に引き続き、卒業生全員に宮崎歯学部長から学位記が伝達され、引き続き学生表彰、記念品贈呈および花束贈呈を行い、上條学生部長の挨拶で午後2時に閉式しました。



学生表彰者は以下の通りです。歯科医学生賞: 楠本友里子, 中嶋彩和子, 橋本アメリー, 学生部長賞: 橋本アメリー, 教育委員長賞: 森 俊光, デンツプライ賞: 酒井絵理菜, 野村鐘優, 歯科補綴優秀賞: 高島楓, 帆足明耶佳(敬称略)

卒業生代表の長谷川光将君から大学に記念品としてインターアクトMTテーブル, スタッキングチェアほか贈呈されました。卒業生におかれては、配布された卒業までのロードマップを忘れず、コンピテンシーを折りに触れては読み返し、今後各方面で活躍されることを祈念します。

謝恩会が行われました

教育委員長 井上美津子

昭和大学歯学部第32期生の謝恩会は、平成26年3月17日(月)に卒業式、学位伝達式が行われた後、帝国ホテル東京の光の間で開催されました。

卒業生とご父兄の拍手と歓声に迎えられて、名誉教授、教授、准教授、講師の順で入場し、会が始まりました。最初に宮崎学部長のご挨拶があり、教育委員長、飯島歯学部同窓会長の挨拶が続き、榎病院長の乾杯の音頭で祝宴に入りました。昨年は歯科医師国家試験の発表の後、謝恩会が開催されたため悲喜交々という状況でしたが、今年は翌日国試発表を控えて不安がありながらも卒業生は謝恩会を楽しんでいる様子でした。医学部の謝恩会から駆けつけていただいた小口理事長、小出学長など来賓の方々からのご祝辞をいただき、卒業生から先生方への花束の贈呈が行われました。

恒例の先生ランキングでは「授業のわかりやすい先生」「白衣の似合う先生」「熱意のある先生」など多くの先生方が表彰され、会場での記念撮影のあと、会はお開きになりました。卒業生の皆様の今後のご活躍を期待しております。



大学院修了式が行われました

大学院運営委員長 佐藤裕二

3月14日に上條講堂で昭和大学大学院修了式が行われました。今年度からガウンと帽子着用で、荘厳な雰囲気でした。医学研究科45名、歯学研究科27名、薬学研究科1名、保健医療学研究科12名に対して学位記が、助産学専攻7名に修了証が渡されました。

歯学研究科では芳賀秀郷君が学位記を代表して受け取りました(今年度から制定された最優秀大学院修了者を表彰する上條賞も受賞)。学長の告示、理事長の祝辞の後、各研究科長からの祝辞があり、その後、全員で昭和大学宣言を行いました。校歌斉唱の後、各研究科に別れて学位記を全員に授与し、記念撮影を行いました。

これがゴールでは無く、研究者として、また研究マインドを持った臨床家として新たなスタートを切ってくれることを期待しています。



上條賞を受賞しました

D6 山本朗子

平成26年度卒業式にて上條賞を受賞しました。このような名誉ある賞を頂きまして大変嬉しく思います。何よりも友人や家族、先生方など自分の身の周りの方々が受賞を喜んでくださったことが本当に嬉しかったです。

勉強とは一人で行うことのように思えますが、そうではありません。今回の受賞も、共に学び励まし合う友人、どんな時でも味方でいてくれる家族、医療人としての教を導いてくださった先生方、皆様のおかげだと強く実感しています。

これからも自分自身の知識と技術の向上に努め、自分の目指す歯科医師像に日々近づけるよう今まで以上に努力していきたいと思っております。本当にありがとうございました。



上條旗が岡賞を受賞しました

D6ラグビー部 田代 慎

バスで富士吉田キャンパスに向かったのが6年前、そして今日の卒業まで、あっという間でした。この6年間で多くの出会いに恵まれ、充実した大学生活を過ごすことができました。特にラグビー部では、かけがえのない経験と大切な仲間に出会えることができました。5年次には主将を務め、そして6年次には昭和大学史上初の関東医歯薬ラグビーリーグ1部全勝優勝を達成することができました。勉強と部活動との両立は大変でしたが、苦しい時にもどちらにも精一杯向き合った経験は私を大きく成長させた実感しています。卒業後も学生生活で得た経験を活かし精進していきたいと思っております。最後に大学生活を支えてくださった先生方、同期生、そして家族に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



上條賞(大学院)を受賞しました

大学院4年(歯科矯正学専攻) 芳賀秀郷

この度、昭和大学大学院修了式において上條賞(大学院)の授与を受けました。本学の創設者である上條秀介先生ゆかりのある大変栄誉ある賞であるとともに初代大学院上條賞ということをお大変光栄に思います。

大学院における研究のテーマは「ゲノムワイド関連解析から同定される第三大臼歯先天欠如をもたらす遺伝要因の探索」です。これまで小臼歯部の先天欠如についての原因遺伝子は報告されていますが、第三大臼歯の先天欠如における遺伝要因の探索は世界で初めてのものになります。大学院入学時より研究において榎宏太郎主任教授、山口徹太郎准教授のご指導のもと日常臨床と直結したテーマとして取り組んで参りました。歯科矯正臨床において身近な問題である永久歯先天欠如に対し、ゲノムワイド関連解析を用いて関連を示唆する複数の遺伝子多型を同定することができました。大学院時代に学んだ経験を生かし、さらなる研究活動の推進に務めていきたいと考えております。

今後、本賞受賞を糧としてより良い臨床、研究、教育を実践するとともに昭和大学のさらなる発展のため微力ながら貢献できたらと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



D2オリエンテーションが実施されました

歯科薬理学講座 高見正道

3月3日から12日まで、新2学年のオリエンテーションが実施されました。今年には3名の編入生が新たに加わり、図書館や保健管理センターの紹介をはじめ、先輩体験談、各講座の紹介、日本放送アナウンサー高嶋秀武氏による講演会、旗の台・歯科病院のオリエンテーリング、荏原警察署による自転車安全講習会などがおこなわれました。第2学年の全指導担任が参加したワークショップでは、学生が自身の担任について紹介するとともに、富士吉田での反省点と今後の抱負を発表し、その内容を互いに評価し合いました。その結果、男女交際についての問題点を明示し、具体的な改善案を提唱したグループ(山田 篤講師担当)が最高点を獲得しました。アンケート結果によると、今回は歯科理工学部門が主催した株式会社GCの見学が最も印象に残ったとのことでした。今回のオリエンテーションが新生活のスタートに少しでも役立つことを期待しています。



第5回臨床実習終了時 OSCE (iOSCA) が実施されました

iOSCA 実行委員長 山本松男

3月13日、14日に第5回iOSCAを実施しました。第1日目は医療面接およびバーチャルペーシェント(写真)による患者情報の収集・診査診断・治療方針決定等に関する課題、第2日目はスキルスラボにおいて、医療安全、保存系、補綴系の技能系をインテグレートした課題を課しました。iOSCAでは講義や実習で習得した複数の知識と技術が臨床実習で体系的に結びつき、診療行為として行動できる能力に昇華したことを本学が定めたコンピテンシーに照らして評価しています。登院前の共用試験の一つとして実施されるOSCEは、基本的な医療面接等に加えて、個々の手技動作ができるかできないかの試験です。歯科病院の1年間の実習がなければ、臨床に即して設定されているiOSCA課題に対応することはできません。チーム医療と言われるように、我が国において歯科医療環境は多様化しており、自己研鑽を生涯にわたり継続する事が求められています。本年度も近隣歯科医師会の先生方にも見学・評価をしていただきました。社会に求められる方向性を今後のiOSCAにも行かしていきたいと思えます。

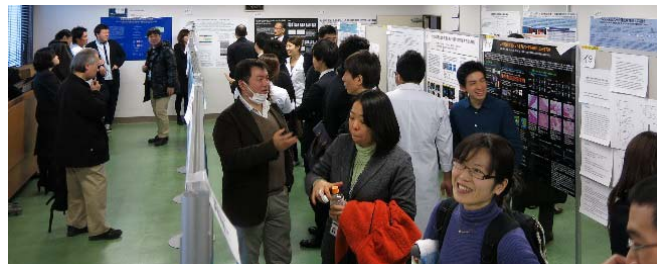


私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成25年度合同シンポジウムが開催されました

歯周病学講座 須田玲子

3月8日(土)に表記シンポジウムが歯科病院にて開催されました。初めに創薬分子プロファイリング研究センター長の夏目徹先生がヒト型汎用ロボット「まほろ」の紹介とともに、創薬の分野での高精度・高再現性の実現の重要性について、思わず「あるある」と頷いてしまう実験室の光景を交えながら説得力のある御講演をされました。次に千葉大学の丹沢秀樹先生は口腔癌の治療における歯科医師や歯科衛生士による「専門的口腔ケア」の医学的意義、効果、医療経済的効果等について具体的な数字を示しながら御講演され、今後どのように「専門的口腔ケア」を展開していくか、その方向性を示唆して頂きました。

その後「デンタルイノベーションを目指した就学的研究拠点形成ーアンチエイジングに貢献する新たな付加価値の創生ー」をテーマにポスター発表では活発な議論もあり、成功裏に終了しました。



至誠塾修了式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成25年度昭和大学至誠塾(4回生)修了式が、3月19日(水)午後6時から1号館5階カンファレンスルームで開催されました。至誠塾は学校法人昭和大学の発展のために、教育職員だけでなく全ての職員から若い職員を広く求めて、平成21年に開塾されました。修業年限は2年間で、1年目は講義および討論形式で実施され、2年目はテーマ別研究および発表形式で実施されます。塾長である小口理事長から4回生14名に修了証が授与され、本学が日本一の大学になるためには本学からの新しい文化の創造が必要で、そのために失敗を恐れず改革を継続していきましようという力強い告示がありました。歯学部からは上條竜太郎教授が修了証を授与されました。修了生が一丸となって本学の発展のためにそれぞれの立場で貢献されますようお願い申し上げます。



ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)との交換プログラムに参加しました

D2 小林 理香

今回、私は得意な英語を活かすため、また自分にとってハイレベルなことに挑戦したいとの思いから交換プログラムに参加しました。ブリティッシュコロンビア大学では主に3、4年の臨床実習を見学しました。まだ私が習っていないことばかりで想像以上に戸惑いましたが、一緒に研修に参加した4年生の先輩に助けられ、内容を理解することができました。現地の歯科医師や学生に歓迎され、皆とても親切であり本当に毎日が楽しく刺激的であり、今までの人生で一番成長できた時間といえるほど充実していました。今回見学した内容を今後授業や実習で勉強するのがとても楽しみであり、もっと歯科知識をつけた状態で再び海外研修に参加したいと思います。最後にこのような素晴らしい機会を与えてくださった全ての方に感謝いたします。

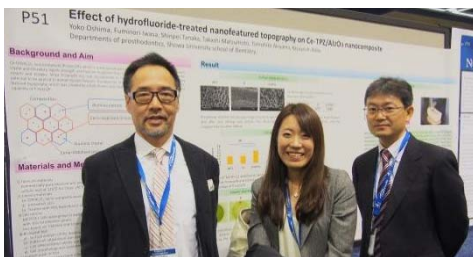


AO (Academy of Osseointegration)で発表しました

歯科補綴学講座 岩佐文則

第29回AO (Academy of Osseointegration)総会が3月6日～8日、シアトルで開催されました。昨年のIADRIに続いてのシアトルでしたが、AOではインプラント関連の研究動向を幅広く収集するだけでなく、今注目の再生医療やデジタルデンティストリーに関連した話題も豊富で、大変充実したプログラムが用意されていました。私自身は過去にフロリダのオーランドで発表の経験がありますが、シアトルは日本からも比較的アプローチしやすいこともあり、開業医の先生方を含め大勢の日本人が参加していたのが印象的でした。余談ですが、有名なスターバックス1号店も相変わらず長い行列ができていました。今回の演題数は280、うち日本からは口演7題、ポスター28題、合計35演題がエントリーされていました。

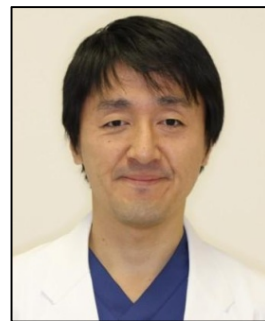
中でも留学時代の仲間で東京歯科大学の山田将博先生が口頭発表でBest oral research presentation賞を受賞されたことがとても刺激になり、自分も発表の機会を得られるよう精進していきたいと思いました。



昭和大学江東豊洲病院 歯科・歯科口腔外科責任者に就任いたしました

江東豊洲病院 渡辺仁資

昭和大学江東豊洲病院は、急激に人口が増加している江東区の「南部地域における病院整備の基本方針」に基づいた「女性と子供にやさしい病院」として3月24日、新規開院いたしました。この基本理念の下、歯科・歯科口腔外科も新しい診療科として開設することになり、現在私と鈴木麻衣子先生、そして歯科衛生士の柴田由美さんと海老澤友梨さんの4名で準備を進めております。開設にあたり宮崎学部長を始め地域歯科医師会の先生方、事務長さんなど多くの方々のご協力を頂いております。「女性と子供にやさしい病院」として地域医療に貢献できるよう全力を尽くして参ります。皆様、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



選抜Ⅱ期入試が実施されました

入試常任委員 美島健二

平成26年度歯学部選抜Ⅱ期・センターⅡ期入試が2月22日(土)に旗の台キャンパス16号館で実施されました。今回の志願者は、選抜Ⅱ期196名(前年度159名の37名増)、センターⅡ期27名(前年度11名の16名増)と前年度に比べ大幅な増加がみられました。当日は積雪の心配がありましたが、交通機関等の乱れもなく定刻に試験が開始され、面接も順調に終了しました。2月24日(月)に選抜Ⅱ期とセンターⅡ期の合格者を発表いたしました。これをもちまして平成26年度の入学試験日程はすべて終了となります。ご協力いただきました職員の皆さまに心からお礼を申し上げます。

行事予定

広報委員長 井上富雄

- 4月 1日(火): D3・D4・D6進級式
D2・D3・D5・D6健康診断
- 4月 2日(水): D4健康診断
- 4月 5日(土): 大学院入学式
- 4月 7日(月): 入学式

編集後記

歯科補綴学講座 樋口大輔

年度末のご多忙のところ、皆様から多くの記事を頂きました。改めてこの場をお借りして御礼申し上げます。今年は桜の満開がこの3月号の発行と同じ頃になりそうです。新年度に向けて心機一転、がんばりましょう。 拝